

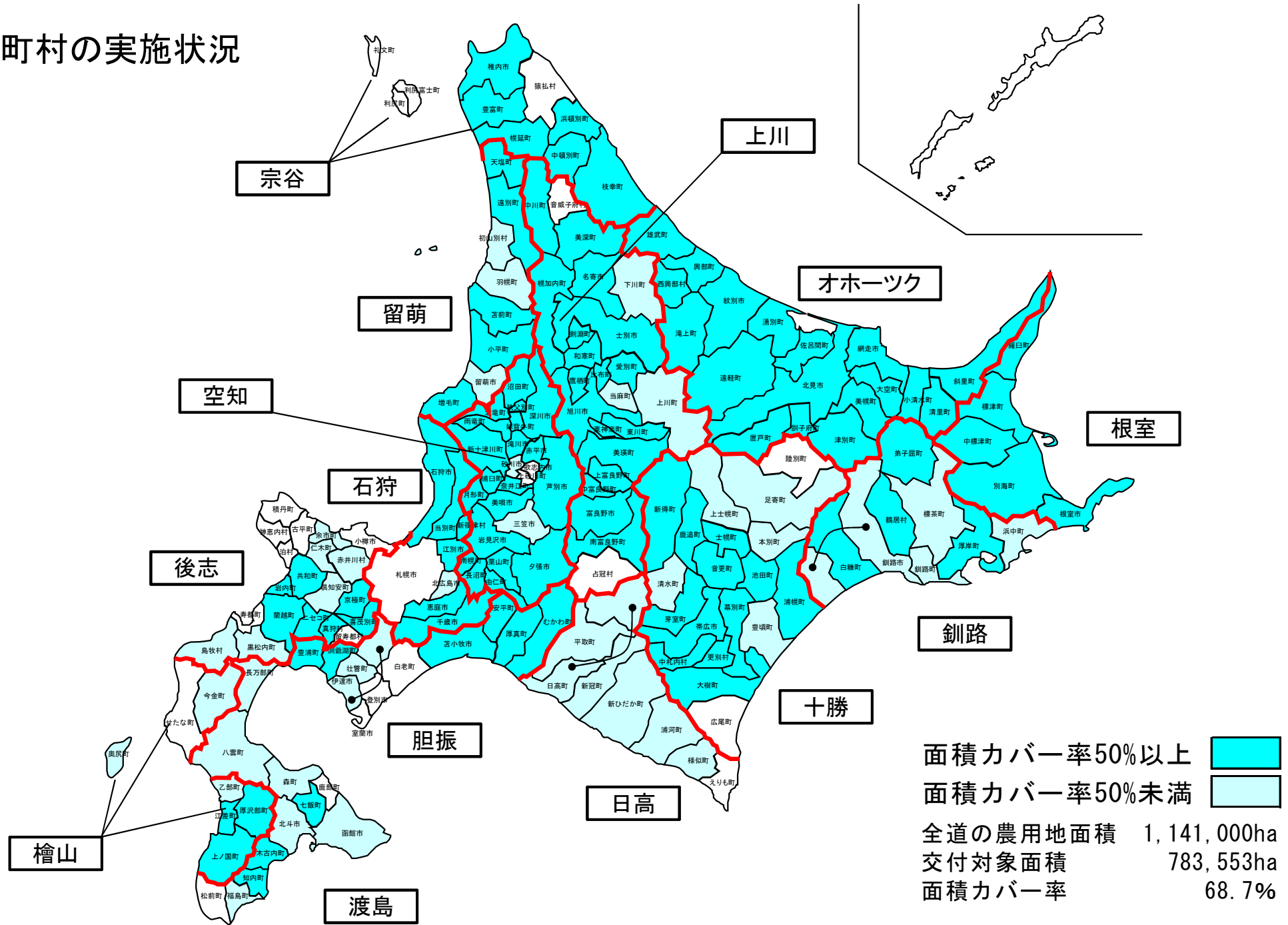
1. 令和5年度多面的機能支払交付金の実績について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数は153市町村で令和4年度から変動なし。
- 活動組織数は、日高地域で5組織が新たに活動を開始したため、令和5年度の組織数は719組織となった。

地域	令和4年度実績 (A)					令和5年度実績 (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	117	117	114	3	22	117	117	114	3					
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	56	1	13	56	56	56	2					
胆振	8	33	33	31		8	33	33	31						
日高	5	10	10	7		5	15	15	7		5	5			
渡島	9	39	39	36	1	9	39	39	36	1					
檜山	6	33	33	26		6	33	33	27						
上川	21	109	109	105	2	21	109	109	105	2					
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
林-ツ	18	42	42	41		18	42	42	41						
十勝	17	170	170	168		17	170	170	168						
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	714	714	678	7	153	719	719	679	8	5	5			

2 市町村の実施状況



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は783,553haで、令和4年度から1,163haの増加となった。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、上川及び日高地域等で増加した一方、区域の見直しにより、オホーツク及び胆振地域等で減少となった。

地域	令和4年度実績 (A)				令和5年度実績 (B)				増減 (B-A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
		田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地
空知	96,910	84,855	11,606	449	97,050	84,961	11,635	454	140	106	29	5
石狩	28,316	20,542	7,182	592	28,472	20,544	7,336	592	156	2	154	
後志	17,992	6,813	10,368	811	17,993	6,813	10,369	811	1		1	
胆振	21,080	8,195	9,972	2,913	21,000	8,196	9,950	2,855	△ 80	1	△ 22	△ 58
日高	2,533	588	114	1,831	2,791	846	114	1,831	258	258		
渡島	9,149	4,350	2,325	2,474	9,147	4,363	2,320	2,464	△ 2	13	△ 5	△ 10
檜山	4,133	3,508	451	173	4,133	3,508	451	173				
上川	98,237	43,756	44,312	10,169	98,822	44,331	44,431	10,060	585	575	119	△ 109
留萌	19,203	4,957	2,105	12,141	19,216	4,969	2,106	12,141	13	12	1	
宗谷	45,822		127	45,695	45,856		127	45,729	34			34
林-ツ	143,746	2,638	100,002	41,106	143,630	2,638	99,999	40,994	△ 116		△ 3	△ 112
十勝	154,530	15	119,078	35,437	154,627	15	119,243	35,369	97		165	△ 68
釧路	37,273		1,746	35,527	37,350		1,792	35,558	77		46	31
根室	103,465		3,324	100,141	103,465		3,324	100,141				
計	782,390	180,217	312,714	289,460	783,553	181,185	313,197	289,172	1,163	968	483	△ 288

(ha未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,959百万円となり、令和4年度から77百万円増額となった。
- 農地維持は、取組面積の増加から27百万円増額となった。
- 資源向上（共同）は、新たに75%単価の適用となる組織で減額となったが、取組面積が増加する組織もあり、8百万円の増額となった。
また、資源向上（長寿命化）は、新たに1組織で取り組み、8百万円の増額となった。
- 加算措置は、「田んぼダム加算」が3町、14組織増となり、28百万円増額となった。

地域	令和4年度実績（A）					令和5年度実績（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上			農地維持	資源向上			農地維持	資源向上					
共同		加算	長寿命化	共同		加算	長寿命化	共同		加算	長寿命化				
空知	3,513	2,068	1,259	172	14	3,530	2,071	1,261	176	22	17	3	2	4	8
石狩	866	545	321			869	547	322			3	2	1		
後志	404	261	134	8	1	405	261	134	9	1	1			1	
胆振	457	292	155	10		457	292	155	10						
日高	25	17	7			30	23	7			5	6			
渡島	196	122	70	3	1	195	122	69	4	1	△ 1		△ 1	1	
檜山	143	85	55	2		141	85	51	5		△ 2		△ 4	3	
上川	2,323	1,463	769	88	4	2,372	1,477	779	113	3	49	14	10	25	△ 1
留萌	238	151	83	4		238	151	83	4						
宗谷	82	61	22			82	61	22							
林-㇏	1,563	1,114	420	29		1,563	1,114	420	29						
十勝	1,724	1,237	461	26		1,727	1,239	462	26		3	2	1		
釧路	98	64	34	1		99	64	34	1		1				
根室	250	163	87			250	163	87							
計	11,882	7,644	3,877	342	19	11,959	7,671	3,885	376	27	77	27	8	34	8

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

※加算措置増減内訳

加算措置名	R 4			R 5			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	43	170	248	44	179	254	1	9	6
農村協働力深化加算	5	37	28	6	39	29	1	2	1
田んぼダム加算	15	54	65	18	68	93	3	14	28
広域化加算	7	7	1	7	7	1			
計	70	268	342	75	293	376	5	25	34

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

5 資源向上支払の取組

資源向上支払交付金（共同）

①施設の軽微な補修

活動例



水路のひび割れ補修



農道の部分補修

②農村環境保全活動

活動例



植栽等の景観形成活動



外来種の駆除

③多面的機能の増進を図る活動

活動例



防災減災力の強化



農村文化の伝承を通じた
農村コミュニティの強化

参考：農林水産省「多面的機能支払交付金のあらまし」

①令和5年度「施設の軽微な補修」の実施状況

- 活動計画書に位置づけた農用地、水路、農道等の機能診断や補修等を毎年度実施することとされている。
- 機能診断の結果に基づき、軽微な補修を実施した対象組織の割合は、農用地75%、水路73%、農道67%、ため池44%となっている。

施設の軽微な補修等の実施状況

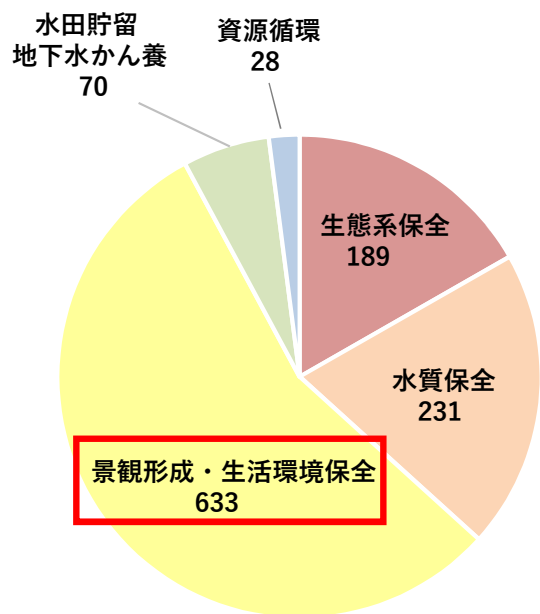
(資源向上支払に取り組む組織のうち、当該施設を活動計画書に位置づけ、軽微な補修等を実施した組織の割合)

	農用地	水路	農道	ため池
活動計画書に位置づけている組織数	679	660	660	78
軽微な補修実施組織数	510	485	444	34
実施割合	75%	73%	67%	44%

②令和5年度「農村環境保全活動」の実施状況

- 要綱基本方針に定める5つのテーマの中から、毎年度1つ以上選択して実施することとされている。
- 「景観形成・生活環境保全」のテーマに取り組む組織が最も多く、その中でも「施設等の定期的な巡回点検・清掃」及び「植栽等の景観形成活動」に6～8割の活動組織が取り組んでいる。

テーマ別実施状況



※数値は組織数。
複数選択可能であり、全回答数の1,151組織を全体数としてグラフを作成。

活動項目別実施状況

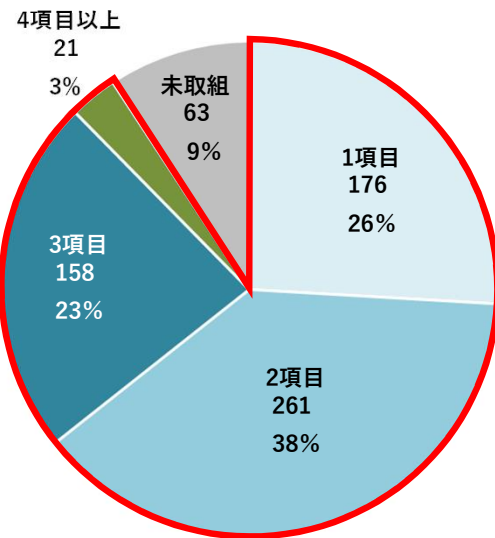
テーマ	活動項目	組織数	割合
生態系保全	生物の生息状況の把握	53	(8%)
	外来種の駆除	164	(24%)
	その他(生態系保全)	20	(3%)
水質保全	水質モニタリングの実施・記録管理	18	(3%)
	畑からの土砂流出対策	53	(8%)
	その他(水質保全)	171	(25%)
景観形成生活環境保全	植栽等の景観形成活動	418	(62%)
	施設等の定期的な巡回点検・清掃	529	(78%)
	その他(景観形成・生活環境保全)	132	(19%)
水田貯留地下水かん養	水田の貯留機能向上活動	67	(10%)
	水田の地下水かん養機能向上活動等	6	(1%)
資源循環	地域資源の活用・資源循環活動	28	(4%)

※数値は組織数。
割合は資源向上支払に取り組む679組織を母数とした値。

③令和5年度「多面的機能の増進を図る活動」の実施状況

- 取組は任意とし、取り組まない場合の交付単価は、基本単価に5/6を乗じた額となる。
- 9つの活動項目のうち、「防災・減災力の強化」、「農村環境保全活動の幅広い展開」、「広報活動・農的関係人口の拡大」及び「鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化」に取り組む活動組織が多く、4～6割の活動組織が取り組んでいる。

多面的機能の増進を図る活動の取組数

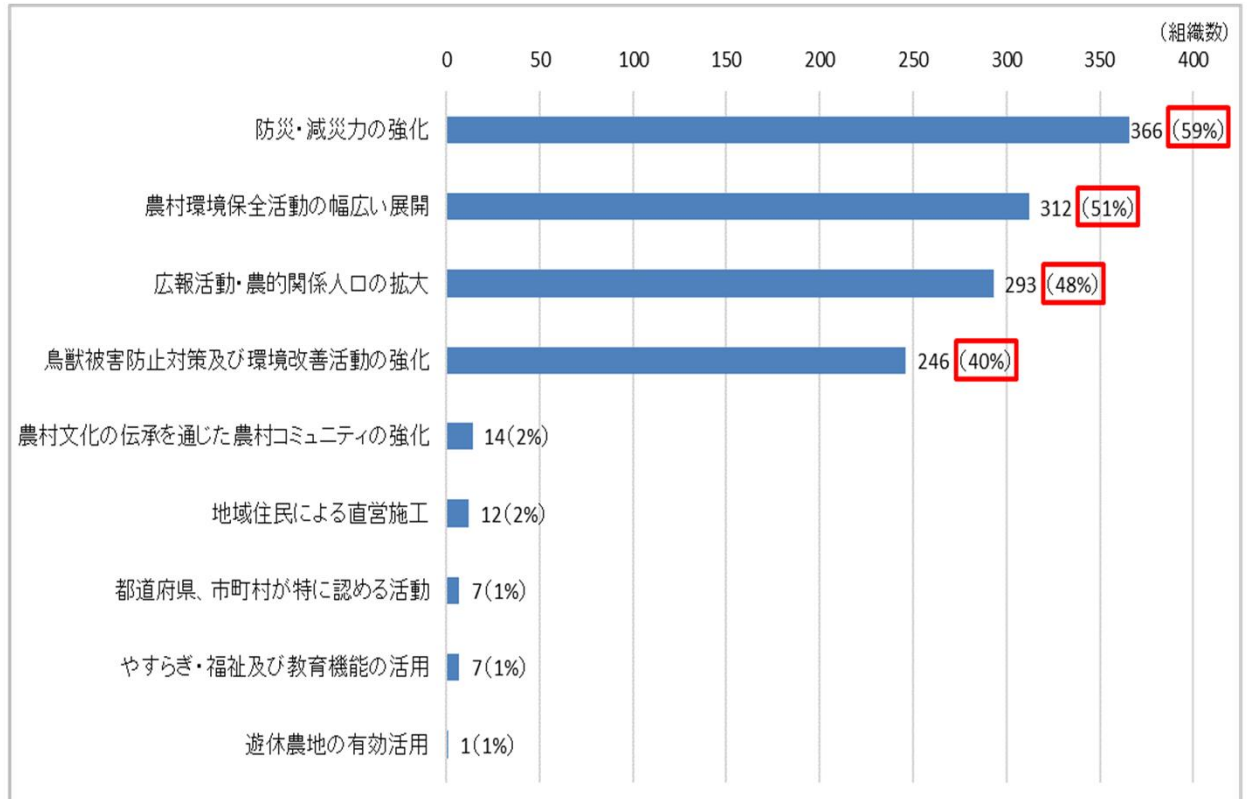


※割合は資源向上支払に取り組む679組織を母数とした値。

○取組数による交付単価の違い

- 1項目 → 基本単価
- 2項目以上 → 基本単価または加算措置対象単価
- 未取組 → 基本単価の5/6

活動項目別実施状況



※数値は組織数。

割合は多面的機能の増進を図る活動に取り組む616組織を母数とした値。

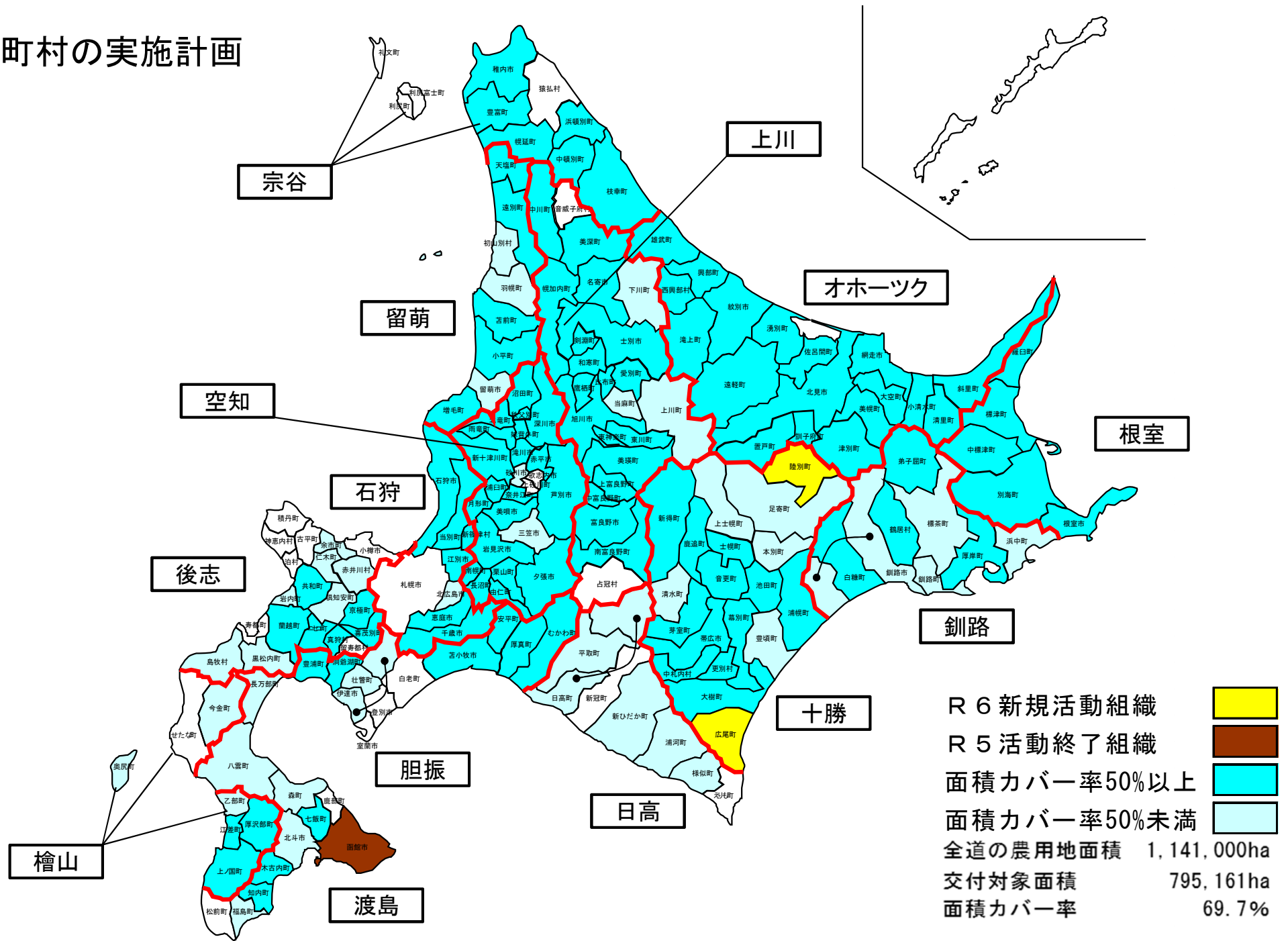
2. 令和6年度多面的機能支払交付金の実施計画について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数は、函館市で活動を終了したが、広尾町及び陸別町で新たに活動を開始するため、154市町村となる。
- 活動組織数は、胆振及び上川地域で各1組織の減、日高地域で1組織が新たに活動を開始する。また、空知地域で広域化により6組織減少したため、令和6年度の組織数は712組織となる。

地域	令和5年度実績 (A)					令和6年度計画 (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	117	117	114	3	22	111	111	108	4		△ 6			△ 6
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	56	2	13	56	56	56	1					
胆振	8	33	33	31		8	32	32	30			△ 1		△ 1	
日高	5	15	15	7		5	16	16	7			1	1		
渡島	9	39	39	36	1	8	39	39	37	1	△ 1		1	△ 1	
檜山	6	33	33	27		6	33	33	27						
上川	21	109	109	105	2	21	108	108	104	1		△ 1		△ 1	
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
林-ツ	18	42	42	41		18	42	42	41						
十勝	17	170	170	168		19	170	170	168		2		3	△ 3	
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	719	719	679	8	154	712	712	672	7	1	△ 7	5	△ 6	△ 6

2 市町村の実施計画



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は795,161haで、令和5年度から11,608haの大幅な増加となる。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、十勝及び胆振地域等で増加した一方、区域の見直しにより、空知及び宗谷地域等で減少となる。

地域	令和5年度実績 (A)				令和6年度計画 (B)				増減 (B-A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
		田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地
空知	97,050	84,961	11,635	454	96,769	83,925	12,389	454	△ 281	△ 1,036	754	
石狩	28,472	20,544	7,336	592	28,425	19,681	8,232	512	△ 47	△ 863	896	△ 80
後志	17,993	6,813	10,369	811	17,859	6,812	10,290	757	△ 134	△ 1	△ 79	△ 54
胆振	21,000	8,196	9,950	2,855	21,710	8,396	10,359	2,955	710	200	409	100
日高	2,791	846	114	1,831	2,902	906	149	1,847	111	60	35	16
渡島	9,147	4,363	2,320	2,464	9,178	4,376	2,370	2,431	31	13	50	△ 33
檜山	4,133	3,508	451	173	4,280	3,653	453	173	147	145	2	
上川	98,822	44,331	44,431	10,060	98,814	44,332	44,571	9,910	△ 8	1	140	△ 150
留萌	19,216	4,969	2,106	12,141	19,222	4,941	2,140	12,141	6	△ 28	34	
宗谷	45,856		127	45,729	45,586		120	45,466	△ 270		△ 7	△ 263
林-ツ	143,630	2,638	99,999	40,994	143,567	2,638	99,895	41,034	△ 63		△ 104	40
十勝	154,627	15	119,243	35,369	165,924	15	121,463	44,446	11,297		2,220	9,077
釧路	37,350		1,792	35,558	37,362		1,799	35,563	12		7	5
根室	103,465		3,324	100,141	103,565		3,466	100,099	100		142	△ 42
計	783,553	181,185	313,197	289,172	795,161	179,675	317,696	297,790	11,608	△ 1,510	4,499	8,618

(ha以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,962百万円となり、令和5年度から3百万円増額となる。
- 農地維持は、取組面積の増加から21百万円増額となる。
- 資源向上（共同）は、取組面積の増加から3百万円の増額となる。また、資源向上（長寿命化）は、新たに1組織で取組を開始するが、事業計画期間が終了したことにより2組織が減となり、3百万円の減額となる。
- 加算措置は、「多面的機能増進加算」が増加した一方、「農村協働力深化加算」が廃止となったことにより、18百万円減額となる。

地域	令和5年度実績（A）					令和6年度計画（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			
共同		加算		共同			加算		共同			加算			
空知	3,530	2,071	1,261	176	22	3,480	2,055	1,249	156	21	△ 50	△ 16	△ 12	△ 20	△ 1
石狩	869	547	322			855	536	313	7		△ 14	△ 11	△ 9	7	
後志	405	261	134	9	1	403	261	133	8	1	△ 2		△ 1	△ 1	
胆振	457	292	155	10		470	301	160	10		13	9	5		
日高	30	23	7			32	25	7			2	2			
渡島	195	122	69	4	1	196	123	69	4	1	1	1			
檜山	141	85	51	5		144	89	50	5		3	4	△ 1		
上川	2,372	1,477	779	113	3	2,367	1,478	778	109	2	△ 5	1	△ 1	△ 4	△ 1
留萌	238	151	83	4		238	151	83	4						
宗谷	82	61	22			82	60	22				△ 1			
林-ツ	1,563	1,114	420	29		1,560	1,113	420	28		△ 3	△ 1		△ 1	
十勝	1,727	1,239	462	26		1,784	1,273	483	28		57	34	21	2	
釧路	99	64	34	1		99	64	34	1						
根室	250	163	87			252	165	87			2	2			
計	11,959	7,671	3,885	376	27	11,962	7,692	3,888	358	24	3	21	3	△ 18	△ 3

※加算措置増減内訳

（百万円以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

加算措置名	R 5			R 6			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	44	179	254	47	191	264	3	12	10
農村協働力深化加算	6	39	29				△ 6	△ 39	△ 29
田んぼダム加算	18	68	93	19	68	93	1		
広域化加算	7	7	1	4	4	1	△ 3	△ 3	
計	75	293	376	70	264	358	△ 5	△ 29	△ 18

（百万円以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

5 令和6年度普及・推進活動実施計画

①普及活動

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことから、令和5年度同様、未取組市町村や活動の広がりが見られない地域に入り、制度の概要等について説明を行い普及を図る。

普及活動の進め方

課題

- 1 本道の農村地域では、担い手の減少や高齢化が急速に進み、集落機能や農業・農村の多面的機能の低下が懸念される状況となっており、地域資源の保全、集落機能の維持やコミュニティの対応が必要
- 2 農業・農村に対する道民理解を促進し、本道の農業・農村を貴重な財産として育み、将来に引き継いでいくため、農業・農村の有する多面的機能の発揮などに向けて地域住民が一体となって進める活力ある農村づくりに向けた取組の推進が必要

※要綱基本方針及び北海道施策評価報告書より

取組

- 1 地域における共同活動を支援する地域を拡大する
- 2 未取組地域における課題を聞き取り、本交付金を活用した支援策等を提案する
一般の方に広く本交付金制度をPRし、関心を持って頂く

具体的な取組内容

- 1 説明会の開催
次頁の(1)の取組
- 2 説明会の開催、広報活動
次頁の(1)、(2)、(3)の取組

(1) 個別説明会

令和7年度以降に新規取組予定地区のある市町村等からの要請に基づき、本交付金で実施が可能な取組の内容や注意点について説明会を開催。

また、すでに取組を行っている組織に対しても地域拡大に向けた説明を行っていく。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 参集範囲 市町村、土地改良区、JA、農業者

(2) 日本型直接支払パネル展

農村振興パネル展（農業農村整備事業、中山間地域等直接支払制度、農村ツーリズム等）に出展し、多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和6年7月4日（木）～5日（金）
- 会場 道庁本庁舎1階 道民ホール
- 内容 ・PRパネルやDVDの上映による取組事例の紹介
・パンフレット等の配布
- 対象者 一般の方

(3) メールマガジン

農林水産省が配信するメールマガジン「農村ふるさと保全通信」に道内組織の活動や役員等へのインタビュー記事等を投稿し、多面的機能支払制度をPR。

- 配信年月 令和6年12月、令和7年4月（予定）

★メルマガはこちらから★

農村ふるさと保全通信

検索



②推進活動

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことから、令和5年度同様、普及活動と併せて積極的に地域へ入って各種説明会等を開催し推進を図る。
- 令和6年度に活動の終了を迎える組織が251組織あることから、継続に向けた支援を行う。

推進活動の進め方

課題

- 1 取組の推進 → 担い手の減少や高齢化、過疎化に伴い多面的機能の発揮に支障
- 2 地域外からの参画 → 将来的に地域内の参加者だけでは実施できない活動がある等支障を懸念
- 3 多様な人材の参画 → 若者や女性役員のなり手不足
- 4 地域防災 → 田んぼダムの活用事例やデータ等の情報が不足

※北海道施策評価報告書より

取組

- 1 広域化や事務の簡素化など組織の体制強化を支援及び本交付金を活用した取組の情報提供
- 2 地域外から活動参加者を取り込んでいる事例を収集・発信し、組織の取組を支援
- 3 女性構成員を集めた座談会などを企画し、多様な参画に向け支援
- 4 活動事例を収集し説明会の開催や事例紹介等により啓発

具体的な取組内容

- 1 説明会、意見交換会等の開催、事例紹介
次頁以降の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(7)の取組
- 2 意見交換会の開催、事例紹介
次頁以降の(2)、(3)、(4)の取組
- 3 女性役員等との意見交換会の開催、事例紹介
次頁以降の(2)、(3)、(4)、(6)の取組
- 4 意見交換会の開催、事例紹介
次頁以降の(2)、(3)、(4)の取組

(1) 事務経理指導説明会

総会の実施状況や会計経理証拠書類の整理状況等、本交付金の執行状況を確認するとともに、必要な指導・助言を活動組織等に行うため開催。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 開催箇所 会計検査や農水省の抽出検査などを踏まえ、関係市町村を対象に開催
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村、事務局（事務経理を受託している土地改良区、JA等）の担当者

(2) 現地意見交換会

令和5年度から新たに取組を開始した市町村や、開催を希望する市町村及び活動組織等を対象として、活動組織等から課題や疑問点を聞き取り、指導・助言を行うための意見交換会を開催。

また、令和6年度に活動の終了を迎える251組織の継続へ向けた支援を行う。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村、事務局（事務経理を受託している土地改良区、JA等）の担当者

(3) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

多面的機能支払事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行う。

- 事例研究会の開催 2回（令和6年8月、令和7年3月）
- 先進地視察研修の実施 1回（令和6年9月～令和7年1月）
- 草地分科会の開催 1回（適時）

R6研究会員

区分	水田	畑	草	計
組織	5	3		8
行政	1		1	2
道協議会				4
合計				14

※定員21名

(4) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会

地域の共同活動による地域資源や農村環境の保安全管理に取り組む活動組織に対して、地域の特性を生かした効果の高い活動事例の普及・推進を図ることを目的とした全道事例発表会を開催。

- 開催時期 令和7年2月（予定）
- 開催箇所 未定
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村、事務局（事務経理を受託している土地改良区、JA等）の担当者

(5) 事務経理担当者等会議

多面的機能支払交付金制度の概要及び改正内容、令和6年度に実施期間が終了する活動組織における留意事項、共同活動における安全管理の徹底など、活動組織の役員、市町村等の担当者に説明を行うため開催。

- 開催期間 令和6年7月～8月
- 開催箇所 ブロック別に開催（全道12か所）
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村、事務局（事務経理を受託している土地改良区、JA等）の担当者

※不正事案の再発防止の一環から、本会議とあわせて、監査役、会計担当者及び市町村担当者に監査研修を実施。

- 研修内容 監査における留意事項等

(6) 女性参画推進の取組

農家戸数の減少や高齢化が進行する中で活動を継続するためには、農業者だけでなく多様な人材の参画の推進が必要であるが、特に女性の参画を推進するため、女性の役員や活動参加者との意見交換や女性が取り組みやすい活動等の事例収集等を行う。

- 開催時期
 - 開催場所
- } (5) 事務経理担当者等会議とあわせて開催するなど2~3箇所を予定

※今後の展開 引き続き事例収集や意見交換を実施し、女性参画による地域への効果等を会議や道のホームページで周知していく。

(7) 道独自の調査

国が実施する抽出検査とは別に、道独自の調査を実施することにより、牽制機能を強化するとともに不正事案の未然防止について指導を徹底する。

- 開催期間 令和6年7月~令和7年2月(予定)
- 開催箇所 農水省の抽出検査などを踏まえ、道内15市町村、15組織を抽出して実施予定
- 調査方法 国の抽出検査に準ずる
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村、事務局(事務経理を受託している土地改良区、JA等)の担当者

③他団体主催の研修会等への参加

- 本交付金の普及・啓発に関連する研修会やイベントへ参加し、活動組織への啓発や一般の方へのPR活動を行う。

(1) 農業農村ふれあいフェスタin赤れんが

NPO法人 農・と・ぴあが主催する「農業農村ふれあいフェスタin赤れんが」に道協議会のブースを設置し、来場者へ多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和6年10月5日（土）
- 会場 道庁赤れんが庁舎前
- 内容 ・パネルによる本交付金の概要と取組事例の紹介
・パンフレット等の配布
・とんぼビーズづくり
- 対象者 一般の方

※12頁の①普及活動の課題2の取組に寄与

(2) アライグマ捕獲技術等研修会

各(総合)振興局環境生活課が主催する「アライグマ捕獲技術等研修会」へ、多面的機能支払交付金を活用したアライグマ対策等について情報提供を行うため参加。なお、市町村を通じて各活動組織に本研修会の開催を案内。

- 開催時期
 - 開催場所
 - 参集範囲
- } 開催時期等については主催者と調整
- 市町村、活動組織

※14頁の②推進活動の課題1の取組に寄与

(3) 農村振興リーダー研修

全国農村振興技術連盟が主催する「農村振興リーダー研修」へ活動組織のまとめ役等が参加することにより、リーダーとしてコミュニティの合意形成について学ぶとともに本交付金制度についての知見を高める。

また、活動組織（1組織程度）から、事例発表を行っている。

- 開催時期 例年1～2月頃
 - 開催場所 札幌市内
 - 参集範囲 活動組織、北海道、市町村、北海道土地改良事業団体連合会等
- } 開催時期等については主催者と調整

※14頁の②推進活動の課題3の取組に寄与

3. 今後のスケジュールについて

令和6年度検討会開催予定

第1回

- (1) 開催時期
令和6年6月13日(木)
- (2) 主な議題
 - ・ 令和5年度実績
 - ・ 令和6年度実施計画

第2回

- (1) 開催時期
令和6年9～11月頃
- (2) 開催場所
検討中
- (3) 主な議題
 - ・ 現地調査
 - ・ 意見交換

第3回

- (1) 開催時期
令和7年2～3月頃
- (2) 主な議題
 - ・ 現地調査報告
 - ・ 令和6年度実施状況
 - ・ 令和7年度実施計画